

2021年度

島根大学大学院人間社会科学研究科修士課程

社会創成専攻地域経済コース

(第1次) 入試問題

【 情報経済論 】

(外国人留学生特別入試)

注 意

- 1 問題紙 1 ページ, 解答用紙 2 枚, 下書き用紙 2 枚である。
- 2 指示があってから確認し, 解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は, 解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙, 下書き用紙は, 持ち帰ること。

以下、2つの問題に答えなさい。解答は解答用紙（問題1と問題2）にそれぞれ1枚ずつ記入すること。

問題1

米国の経済成長が続いた1990年代後半、情報通信産業＝IT産業の急激な発展はインターネット関連企業の実需投資や株式投資の異常な高潮＝いわゆるITバブル現象を生じさせたが、これは実際の情報通信への需要以上の過剰な投資を招いたため、2000年春頃にITバブルは崩壊した。このITバブル現象とその崩壊が2000年代以降の情報通信産業＝IT産業に与えた影響・変化について具体的に述べよ。

問題2

1970年代に大型コンピュータに必要な回路がほとんど組み込まれたマイクロプロセッサが開発され、小型のワンチップで、低価格で手に入れることが可能になった。このマイクロプロセッサの登場後のアメリカの産業と日本の産業の発達の違いについて具体的に述べよ。